

SDロガースクリプト言語 チュートリアル形式

2020年2月19日 株式会社データ・テクノ

2007年1月18日 株式会社データ・テクノ

送信する

ターゲットにデータを送信したい場合は、「/」または「:」に続いて送信したデータを記述すると送信されます。送信データをテキストで記述したい場合は、行の最初に「/」を、ヘキサ(16進数)で記述したい場合は「:」を置きます。

行の最初に「/」を置いた場合は、その次の文字から、改行コードの前までが、スペースやタブコードも含めて送信されます。改行コードは送信されません。

行の最初に「:」を置いた場合は、その後はヘキサ(16進数)文字として解釈され送信されます。

ヘキサ文字は大文字でも小文字でも構いません。スペースやタブは区切りとして解釈され、それ自身は送信されません。区切りがない場合は2桁ずつで区切って解釈されます。

```
/ABC
```

この例では「ABC (41 42 43)」が送信されます。

```
:01234 5 AbC
```

この例では「(01 23 04 05 AB 0C)」が送信されます。

改行コードを送信したい場合はこのようにします。

```
/ABC
```

```
:0D
```

この例では「ABC<CR> (41 42 43 0D)」が送信されます。

周期的に送信する

データを一定間隔で繰り返し送信するには次のように書きます。

```
#LOOP EVER  
#WAIT TIME 1S  
/ABC  
#END
```

この例では1秒ごとに「ABC」が送信されます。

特定のデータの受信を待つ

ある特定のデータパターンを受信したときに、特定のデータを送信したい場合は次のように書きます。

```
#LOOP EVER  
#WAIT DATA /XYZ  
/ABC  
#END
```

この例では「XYZ」を受信すると、「ABC」が送信されます。

改行コードも含めて待つ場合は次のように書きます。

```
#LOOP EVER
#WAIT DATA /XYZ
#WAIT DATA :0D
/ABC
#END
```

この例では「XYZ<CR>」を受信すると、「ABC」が送信されます。

あるバイト数のデータ受信を待つ

データがどんなデータでも、あるバイト数受信したとき、特定のデータを送りたい場合は次のように書きます。

```
#LOOP EVER
#WAIT BYTE 20
/ABC
#END
```

この例では20バイト受信するごとに「ABC」が送信されます。

複数のプロセス

プロセスを使うと複雑な条件を作ることが出来ます。

```
#PROCESS
#LOOP EVER
#WAIT TIME 1S
/ABC
#END
#PROCESS
#LOOP EVER
#WAIT BYTE 20
/XYZ
#END
```

この例では1秒周期で「ABC」が送信され、20バイト受信するごとに「XYZ」が送信されます。

```
#PROCESS
#LOOP EVER
#WAIT DATA /A
/B
#END
#PROCESS
#LOOP EVER
#WAIT DATA /X
/Y
#END
```

この例では「A」を受信すると「B」が、「X」を受信すると「Y」が送信されます。